

防災出前講座

令和7年10月6日(月)

10月2日(木)7限に、【(一社)中部地域づくり協会 地域づくり技術研究所】の所長である犬飼 一博氏を講師にお迎えし、「災害から大切な人の命を守るために」という演題で講話をしていただきました。今回は浸水被害に焦点を絞り、最初は大垣市近隣で発生した過去の大水害について写真を交えながら学習をしました。次に学年の代表者がVR(ヴァーチャルリアリティ)映像による「浸水疑似体験」や、AI(人工知能)にによる「伊勢湾台風に関する対話体験」を行いました。この講座を通して「早めの避難の大切さ」「高校生は守られる人から守る人になれること」を学びました。最後に、講評の犬飼氏から「大切な人の命を守る『避難インフルエンサー』になってほしい」というメッセージをいただきました。

↓ AI おじいちゃんの伊勢湾太郎さんに
伊勢湾台風の体験をインタビュー



↑「守られる人から守る人へ」「避難インフルエンサー」になってほしい

Q:伊勢湾台風の後、一番大変だったことは何でしたか？

A:飲み水を得ることじゃのう。

Q:被害を最小限に抑えるためにはどうしたらよいですか？

A:まずは自分の命は自分で守ること！

大雨特別警報が出ているよ！
大丈夫なのかな……一体どの行動をしたら良いのだろう。
早めの避難が大事！
「避難指示」で必ず避難！



↑VR 映像による浸水疑似体験中

【VR を体験した生徒の声】

- ・「徒歩で逃げる」を選びました。雨がいっぱい降る中で歩いて行くのは大変で、車で避難する人もいて危なかった。
 - ・「川を見に行く」を選んだら、堤防の上に登ったところで自宅が濁流にのまれて、自分も首まで泥水に浸かりました。
- ◎建物の2階以上に避難するとしたら、5m浸水したら水没してしまうし、そうでなくても当分の間は食料も無いし、トイレも使えない。どうしたら良いのだろう……。

事前の備え → 情報収集 → 早期避難